

岡本侑也さん&上野通明さん応援レポート 「ジャン=ギアン・ケラス(チェロ) ケラスが弾く20世紀、21世紀—。」 2016年6月21日(火) トッパンホール

チェロの名手ジャン=ギアン・ケラス氏との共演

トッパンホール。凸版印刷株式会社が創立100周年を記念して、2000年にオープンさせたコンサートホール。クラシックの室内楽を中心に、多様なコンサートが開かれている。

本日のコンサートは世界的に人気の高いチェリスト、ジャン=ギアン・ケラス氏の公演。約2年ぶりの来日の今回、各地で多彩な演奏会が予定されている。

プログラムは、20世紀、21世紀のチェロ作品をテーマに、無伴奏曲を集めたもの。1915年のゴダーイから2015年の藤倉大氏の新作に至る100年にわたるチェロ作品、日本人作曲家の作品も3曲というトッパンホールならではの凝ったプログラムが組まれている。

ケラス氏より日本の若手チェリストとの共演のリクエストがあったとのことで、共演する6名の若手精鋭チェリストに選ばれた岡本さんと上野さん。プログラムのラスト曲にてケラス氏と共演、ブーレーズの「メサージュスキス(7本のチェロのための)」を演奏する。



15th
TOPPAN HALL
since 2000

ケラスが弾く20世紀、21世紀—

ラッヘンマン:プレッショソ(1970)
Lachenmann: PreSSION

委 託 曲: BUNRAKU(1960)
Toshiro Maysuzumi: Bunraku

ゴダーイ:無伴奏チェロ・ソナタ Op.8(1915)
Kodaly: Sonata for Violoncello solo

堀川俊夫: 練 II(1986/2002)
Toshiro Hosokawa: Sen II

藤倉大:osm〜無伴奏チェロのための(2015)
(トッパンホール15周年委嘱作品/世界初演)
Dai Fujikura: osm for Cello
commissioned work for 15th anniversary of Toppan Hall (world premiere)

2016 6/21 [火]
19:00開演 トッパンホール
Tuesday 21 June 2016, 19:00 TOPPAN HALL

チケット料金: 6,500円・学生3,000円(5歳未満)

主催:トッパンホール
特別協賛: 清水建設

ブーレーズ:メサージュスキス(7本のチェロのための)(1977)
Boulez: Messagencies (pour 7 violoncelles)
(共演) 伊東 裕 上野通明 岡本侑也 門脇大樹 長谷部一郎 増 田 佑 希

ケラス氏とともに。7本チェロによる見事な演奏



リハーサル風景(写真:トッパンホールTwitter公式アカウントより)

会場には多くのファンの方々。満席の会場。みなさん開演を待つばかり。

刺激的なこの機会を前に、「・・・ケラスとの共演は嬉しくて、わくわくしています(岡本さん)」、「・・・ケラスとの共演という大変貴重なチャンス、精いっぱい楽しんで頑張ります(上野さん)」と、2人からのコメントも届いている。

ケラス氏登場。大きな拍手に迎えられ、演奏が始まる。神秘的に響く1曲目に続き、コダーイの無伴奏チェロ・ソナタ。ふくよかに、しなやかに。チェロ1本で、これだけ多彩な音色を奏でることができるのかと驚かされる。

休憩後の3曲目、細川俊夫氏作曲の「線II」では、両手に弓を持って(弓2本!)の演奏が披露される。

黛敏郎氏の「BUNRAKU」、ケラス氏のために書かれた藤倉大氏の「osm」、こちらは世界初演とのこと。

難解な曲も、活き活きと、涼しげに弾きこなしてしまう姿も魅力的。熱い拍手に包まれる会場。

そして、締めめのブーレーズ。

いよいよ岡本さん、上野さん達、若手の登場だ。

日本人の若手チェリスト6人がケラス氏を囲むようにして位置を取る。指揮も兼ねる真ん中のケラス氏は、みんなの緊張をほぐすかのように、振り向いて笑顔。

ブーレーズが友人である音楽家(パウル・ザッヒャー)の70歳の誕生日に寄せて作曲したというこの曲、「ザッヒャー」の名前を音名として読み込んで作られているのだそうだ。

聴いているほうも緊張しそうな、かなりの難曲。にもかかわらず7本のチェロによる一糸乱れぬ見事な演奏。極めて早いテンポで、少しずつ音が大きくなっていくラストの盛り上がり。客席から本当に多くのブラヴオーが飛んでいた。



本番はさらに興奮状態、本当に楽しかった！



終演後の楽屋にて。
いい笑顔です。

終演後、楽屋にて二人に話を聞いた；

ー ブレーズ、すごい曲でした；
「・・・難しい曲だということは、わかっていたので覚悟はあったんですが、最初は弾くのが怖いくらいで」（上野さん）
「・・・直前までドキドキでした」（岡本さん）と口々に。

ー リハーサルは昨日1回。熱い指導があったそうだ；
「本当に難しい曲なので、リハーサル時も、（弾くのが）怖かったです。緊張しましたが、本番はさらに興奮した状態で弾くことができました」（上野さん）
「楽しすぎました！」（二人声を揃えて）

ー ケラス氏との共演機会；

「・・・以前にも生演奏を聴いたことがあり、柔軟な演奏に魅力を感じていたのですが、目の前で演奏を聴くことができ、とても勉強になりました。集中力やスタミナも凄いなと思いました」（岡本さん）

「・・・生で聴くのは初めてでした。目の前で不思議な響きが広がるなど、盗みたいところがたくさんありました」（上野さん）

「・・・誰にでも気さくに接する人柄も素晴らしく、そういう面も見習いたいと思いました。」（上野さん）

楽屋での写真撮影にも気持ちよく応じてくれたケラス氏、温かい人柄が伝わってきた。

<演奏会概要>

◆出演

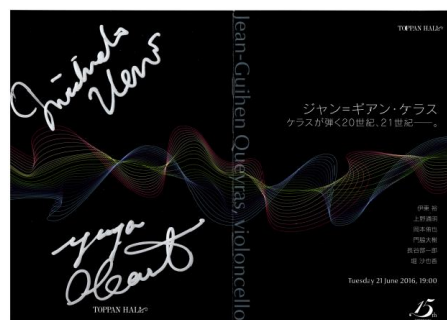
ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)
伊東 裕(チェロ) / 上野通明(チェロ) /
岡本侑也(チェロ) / 門脇大樹(チェロ) /
長谷部一郎(チェロ) / 堀 沙也香(チェロ)

◆プログラム

ラッヘンマン：プレッション
コダーイ：無伴奏チェロ・ソナタ
細川俊夫：線II
黛 敏郎：BUNRAKU
藤倉 大：osm～無伴奏チェロのための
（トッパンホール15周年委嘱作品／世界初演）
ブレーズ：メサージェスキス（7本のチェロのための）

二人とも、貴重な機会を得て、
いろいろなことを吸収したもよう。

岡本さん、上野さん、
素敵な演奏でした。
また、聴かせてください！



【コンサート・フライヤー(表)】

15th
TOPPAN HALL
1999-2014

20世紀、21世紀

ジャン=ギアン・ケラス

TOPPAN HALL
15th SEASON

Jean-Guihen
Queyran
ジャン=ギアン・ケラス
[violoncello]

ラッヘンマン:プレッション(1970)
Lachenmann: PreSSION

宮 敏郎:BUNRAKU(1960)
Toshiro Mayuzumi: Bunraku

コダーイ:無伴奏チェロ・ソナタ Op.8(1915)
Kodaly: Sonata for Violoncello solo

細川俊夫:観 II(1966/2002)
Toshio Hosokawa: Ten. II

藤倉 大:osm〜無伴奏チェロのための(2015)
(トッパンホール15周年委嘱作品/世界初演)
Dai Fujikura: osm for Cello
commissioned work for 15th anniversary of Toppan Hall [world premiere]

ブーレーズ:メサージュスキス(7本のチェロのための)(1977)
Boulez: Messages pour 7 violoncelles
(共演) 伊東 祐 上野 啓明 岡本 俊也 門脇 大樹 長谷部 一郎 星 沙也香

2016 6|21 [火]
19:00開演 トッパンホール
Tuesday 21 June 2016, 19:00 TOPPAN HALL

チケット料金: 6,500円 / 学生3,000円 (税別)

主催: トッパンホール
特別協賛: 清水建設

【コンサート・フライヤー(裏)】

2008年11月、ジャン・ギアン・ケラスがトッパンホールで日本初リサイタルを開いた。リンドベルイ、デュティユー、ブリテンと続く無伴奏チェロのための20世紀音楽だけのプログラムで、ケラスは、聴衆の視界を抜き、完璧に魅了した。新たなスター誕生の瞬間だった。その後、一躍人気ソリストとなった彼は、ソロ、デュオ、コンチェルト、室内楽と様々なシーンで多岐な顔を見せ今日に至っている。

そして、ケラスの登場に感嘆されたかのように、21世紀に入って数年を経てから、ヨーロッパのチェロ界は急速に状況を見直しはじめた。一帯上の技術と音楽性を兼ね備えた新時代のソリストたちが、革新的なプログラム、ビルディングを携えて自顧し、現在の潮流へと繋がっている。ケラスは、そんな時代を先取りした類稀な才能だったといえよう。

初リサイタル後もケラスは、定期的にトッパンホールの舞台に登場し続けた。近年は、2011年のA.タローとのデュオ、12年のベルリン音楽アカデミーとの共演、アルカント・カネタツとしての出演などで名演を繰り返している。いずれにせよ、パッパヤペーター・ヴェンといったプログラムを離れれば、ケラスの持ち味、個性が十分に発揮されるプログラムで、この時代を駆け抜ける才能を存続めたいというのが、トッパンホールにおける僕らのスタンスだ。

そこで今回、久しぶりに原点に立ち戻り、無伴奏のケラスで20世紀、21世紀のチェロ作品をテーマにしたコンサートを開きたいと考え、ケラスに提案した。彼もすぐに承諾してきた。ここ15年のケラスの足跡を辿るにもふさわしいプログラムにすべく、舞台に新作を委嘱することにした。1915年のコターイから2015年の舞台大に至る、100年目けるチェロ作品をケラスで響くプログラムの骨子は、こうして誕生した。

舞台には、ケラスをイメージして、技巧的にも極めて美しく、かつ音楽的にも驚きゆたかのある作品を委嘱して下さるよう依頼した。舞台自身が、ケラスのファンだということ。この依頼をとても喜んで引き受けてくれた。どのような作品が誕生するか、ケラスと共に首を長くして待っているところだが、さらに、ケラスのリクエストで、日本の弟子との共演の場もある。ブーゾーリの7本のチェロのための作品を共同演奏することで、日本人アーティストが大いにインスピレーションされることも期待している。

トッパンホール企画制作部長 西倉 圭史

ケラスが弾く20世紀、21世紀



トッパンホールクラブ会員限定 ジャン・ギアン・ケラス (6月25日横浜能楽堂公演) とのセット券のご案内

横浜能楽堂公演とのセット券

●セット券専用席 ●会員専用入場券

通常価格 11,200円のところ

トッパンホールクラブ会員

……………10,000円

演奏プログラム (トッパンホール限定)

ジャン・ギアン・ケラス シルクロー・トプフ・ジェクト 独逸能楽堂で初会演の作品を演奏
ジャン・ギアン・ケラス(チェロ) ケイヴァン・シェヒラーニ(ダブルバズ) / ダブ
ビザン・シェヒラーニ(ダブルバズ) / ダブ ソクラティス・シムプロス(リラ) 独 念(尺八)

2016年6月25日(土) 14:00開演

観覧券別売(現金・クレジットカード)

- トッパンホールが冠をかけた「チェロ独奏」
- 15、17、19、21世紀の傑出したチェロ独奏家2曲 (ハ素直 録AV1029)
- 独奏: 大曲 - 独逸能楽堂での初演(2015年)
- 独奏: 大曲 - 尺八との共演(2015年)
- 独奏: 大曲 - 尺八との共演(2015年)
- ケラス&シムプロスによる新演奏
- シェヒラーニによる新演奏
- ケラス(ケラスはT4名) ほか

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

ウェブサイトからも申し込みいただけます。 <http://www.toppanhall.com/>
チケットぴあ 0570-02-9999 ローソンチケット 0570-000-407
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

トッパンホールクラブ会員の優待価格(セット券は27席を過ぎればトッパンホールチケットセンターのA席価格となります。)
●学生優待は本席限定となります。 ●学生優待は本席限定となります。
●お急ぎサービス(ご予約前)【公演日直前限定】公演日直前限定(ご予約前)【公演日直前限定】公演日直前限定
17:00-17:30、17:30-17:50(土曜限定)へ申し込みください。

チケットを1枚、複数のお席をお申し込みいただけます。あらかじめご了承ください。
●観覧券は別売の300円値となります。

交通のご案内

江戸川線駅 東下町駅南口徒歩4分(徒歩約400m)
駅名 駅型 地下鉄有楽町線(有楽町線) 東武東上線(東武東上線) 大宮線(大宮線) 池袋駅(池袋駅)
地下鉄有楽町線 池袋駅南口徒歩4分(徒歩約400m)
池袋駅南口(池袋駅南口) 池袋駅南口(池袋駅南口)
池袋駅南口(池袋駅南口) 池袋駅南口(池袋駅南口)
池袋駅南口(池袋駅南口) 池袋駅南口(池袋駅南口)

トッパンホール 〒112-0008 東京都文京区本郷1-1-1 Tel: 03-5840-2222 Fax: 03-5645-1515
E-mail: info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/



夢から未来を始めよう。

子どもたちに買われることも、

清水建設

シムズ・ドリーム 特選

東京都文京区本郷1-1-1 池袋駅南口徒歩4分(徒歩約400m) 03-5840-2222

【コンサート・プログラム(表紙・裏表紙・1～2ページ)】

TOPPAN HALL

Jean-Guihen Queyras, violoncello

ジャン=ギアン・ケラス
ケラスが弾く20世紀、21世紀——。

伊藤 裕
上野通明
岡本侑也
門脇大樹
長谷部一郎
堀 沙也香

Tuesday 21 June 2016, 19:00

TOPPAN HALL

15th anniversary



プログラム program

ラッヘンマン:プレクション (1969)
Lachenmann: Pression

コダーイ:無伴奏チェロ・ソナタ Op.8 (1915)
Kodály: Sonata for Violoncello solo Op.8
I Allegro ma non troppo appassionato
II Adagio
III Allegro molto vivace

休憩
Intermission

堀川俊夫:線 II (1986/2002)
Toshio Hosokawa: Sen II

長 敬部: BUNRAKU (1960)
Toshio Mayuzumi: BUNRAKU

最上 大: osm〜無伴奏チェロのための
(トッパンホール15周年委嘱作品/世界初演) (2015)
Dai Fujikura: osm for Cello (Commissioned work for 15th anniversary of Toppan Hall, world premiere)

ブーレーズ:メサージュスキス (7本のチェロのための) (1976)
Boulez: Messagiques pour 7 violoncelles
プリンシパル: ジャン=ギアン・ケラス
1 岡本侑也 2 上野通明 3 伊藤 裕 4 堀 沙也香 5 門脇大樹 6 長谷部一郎
T.Yuga Okamoto 2.Michiki Ueno 3.Yu Ito 4.Sayaka Hori 5.Hiroki Kadonosaki 6.Tchiro Hasebe

主催:トッパンホール
特別協賛:清水建設株式会社

【コンサート・プログラム(プロフィール)】

プロフィール



©Mitsuo Sogabe

ジャン・ガラン・ケラス / チェロ Jan Garbarek / cello

1967年セントリオール生まれ。リヨン国立高等音楽院、フライブルク音楽大学、ジュリアード音楽院でチェロを学ぶ。

レパートリーはバロックから現代まで多岐にわたり、ウィーン楽友協会、コンセルトヘボウ、シヤンゼリ協奏団、ウィグモアホール、カーネギーホール等、世界の権威あるコンサートホールで多くでリサイタルを行っている。また、フィルハーモニー管弦楽団、ナリ管弦楽団、チューリッヒ・ソーンガット管弦楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、ライブツウィーク・ヴァントハウス管弦楽団、BBC交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団等と共演。優れた室内楽奏者としても知られ、2002年にはアンティエ・ヴァイトボース、ダニエル・ゼベック（ヴァイオリン）、タベア・ツィンマーマン（ヴィオラ）とアルカント・カルテットを結成し、定期的に演奏活動を行っている。

これまでに、ハイデン、ドヴォルジャーク、ヴィヴァルディ、エルガーのチェロ協奏曲、シューベルト（アルペジオ・ソナタ）、マッハ（短序奏チェロ独奏）、ドビュッシー＆ブーランク作品集、メルニコフ（ピアノ）とのベートーヴェン「チェロとピアノのための作品全集」、メルニコフならびにファウスト（ヴァイオリン）とのベートーヴェン「ピアノ三重奏曲集第6巻、第7巻」等のCDをリリース（ハルモニオ・アンティノ・キングインターナショナル）。数々の賞を受賞している。

演奏事業は1995年ジョフレド・カッパ「第16セク・ミュージカル・ソング・エネジエラル」より開始。

2002年グレン・グールド国際プロジェクト受賞。現在、フライブルク音楽大学教授。

トッパンホールには、2001年11月の演奏プログラムによる日本初リサイタルを成功し、ソロ、デュオ、コンセルトのソリストとして、またアルカント・カルテットのメンバーとしてもたびたび出演。多岐な魅力で常に音楽を魅了している。

profile



伊東 裕 / チェロ Yuta Ito, violoncello

東京芸術大学音楽学部器楽科を首席で卒業後、現在同大学音楽学部研究科修士課程在学中。2008年第77回日本音楽コンクール第1位。これまでに関西フィルハーモニー管弦楽団、神戸市室内合奏団等と共演。小澤隆雄室内楽アカデミーや音楽塾オーケストラ、また中之島国際音楽祭、いこま国際音楽祭、武生国際音楽祭等に参加。これまでに新島謙策、向山進子、山崎孝子、中本健二らに師事。今年7月のトッパンホール（ワン・タイム・コンサート）に出演予定。



上野道明 / チェロ Michiko Ueno, violoncello

2009年、13歳で第6回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールにて日本人初の優勝。10年第6回ルーマニア国際音楽コンクール第1位。14年第21回ロハニス・ブラームス国際コンクール第1位。これまでに国内外のオーケストラと多数共演。桐朋学園大学ソリスト・ティプロマコース全額奨励金特待生として専攻位に修了。15年よりデュッセルドルフ音楽大学コンツェルト・エグゼクティブコースにてピーター・ワイスベルク氏に師事。トッパンホールには、(ニューヨーク・コンサート)などでたびたび出演。17年からは、「エストヴォールンシリーズ」への出演が決まっている。



岡本侑也 / チェロ Yuya Okamoto, violoncello

東京芸術大学音楽学部を経て、現在ミュンヘン音楽演劇大学に在学中。H-J、ゼーフェルト、山崎伸子、W-S、ヤンらに師事。2009年第2回ガス・パール・カサド国際チェロ・コンクールに八王子で審査員助演。11年第80回日本音楽コンクール第1位。15年第2回国際日独比音楽祭審査員が審査多岐。NHK-FM「リサイタル・ソフィア」フレッシュ音楽コンサート、紀尾井ホール「紀尾井 明日への扉5」、サントリーホールでの「成人の日」コンサート等に出演。これまでに東京新交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団などと共演している。

プロフィール



門脇大樹 / チェロ Hiroki Kadozaki, violoncello

東京芸術大学音楽学部卒業後、イタリアのレジョエミリア音楽院、アムステルダム国立音楽院にて、フランチェスコ・フェラリーニ、ロレンツォ・ボッラーニ、マーティン・モステルト、ダニエル・エッサーらに師事。2005年第74回日本音楽コンクール第3位。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。これまでに、チェロを朝田誠治、南田一幸、岡野文彦、山崎伸子らに、室内楽をゴッホ・ベルク・山根康代子、岡山康らに師事。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。



長谷部 一郎 / チェロ Ichiro Hamabe, violoncello

名古屋大学経済学部卒業。桐朋学園大学ソリスト・ティプロマコース修了。第64回日本音楽コンクール第1位。1996年からサイトウ・キネン・フェスティバルに専攻。新日本フィルハーモニー交響楽団のフォアシュビラーを経て、2006年から東京新交響楽団チェロ奏者。これまでに新日本フィル、九州交響楽団、東京交響楽団等と共演。向山進子、渡期、山崎伸子、中本健、P.エス・レーン、M.フルネロに師事。



堀 沙也香 / チェロ Sepha Hori, violoncello

東京音楽大学付属高等学校、同大学卒業。在学中7年間、特待生奨学金を受ける。第76回読売新人演奏会に出演。その後、桐朋学園大学に入学してさらに研鑽を積み、長谷部 一郎、山崎伸子らに師事。第9回札幌ジュニアチェロコンクール最優秀賞。NHK-FM「リサイタル」毎日音楽番組小沢俊平リサイター・コンサートをはじめ、数々の演奏会に出演。別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどにも参加している。父・塚下介とのデュオCD「花のワルツ」、「アヴェ・マリア」をリリース。e-onkyo musicにてハイブリッド生録音アルバムを録音中。東京チェロアンサンブルメンバー。